リーディングDXスクール事業　【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

【取組内容】　第３学年　「Googleマイマップ」を活用したデジタル地域安全マップの作成

1　地域を探検したり専門家から話を聞いたりして情報を集める。

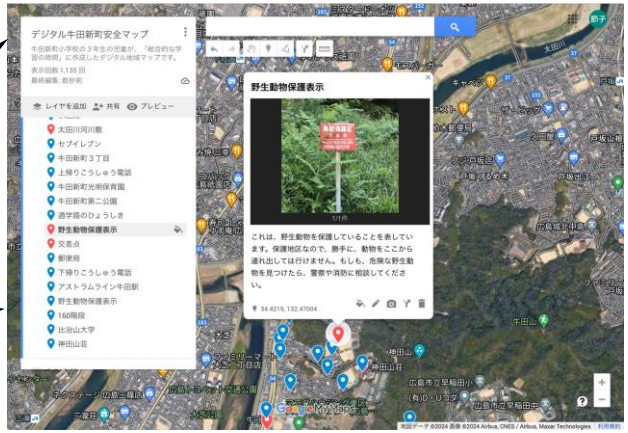
　タブレット端末を持って町に探検に行き、安全・危険の視点で写真を撮ったりメモを取ったりして記録をした。また、警察官や消防隊、大学教授や地域の方等にインタビューし、情報を収集した。

2　「Googleマイマップ」で情報を共有する。

　児童一人一人が見たり聞いたり調べたりした情報と、町の方に向けたメッセージを入れたカードを作成し、インターネット上で共有した。

Googleマップを使用することで、作成児童の個人情報を守りながら、インターネット上に公開することができる。

地図上に色別マーカーを立て、色で安全か危険を表示した。



探検で撮ってきた写真と収集した情報を児童が自分で入力した。

１人1台端末を生かし、１人1枚のカードを作成した。

3　作成したデジタル地域安全マップを地域・家庭・学校に発信する。

　作成したデジタル地域安全マップは、作成に協力いただいた専門家の方や地域の方、また、全児童にも見てもらえるように学校のHPにアップしたり二次元コードにして配付したりする。保護者に向けては、１年間の取り組みを報告する発表会を参観日に行う予定である。